

令和4年度 宮城県発達障害者支援センター運営事業  
Vineland-Ⅱ（適応行動尺度）研修会  
受講申込書

宮城県発達障害者支援センター「えくぼ」行き

e-mail:m-ekubo@abelia.ocn.ne.jp

※本用紙をPDFに変換しメールに添付するか、下記内容に沿ってメールにてお申込みください。

申込日：令和4年 月 日

事業所（機関）名：

電話番号：

所在地：

市・町・村

	ふりがな 氏名	所属（課・係）	職名	経験年数
1				
2				
3				

**申込み締切り：令和4年5月31日（火） 17:00**

受講決定の際は、メールにてご連絡いたします。

※1 この申込書でお預かりした個人情報は、研修会の運営でのみ使用いたします。

※2 定員に達し次第、締め切りとさせていただきます。お申込みいただいた時点で定員超過の場合は、その旨ご連絡いたします。

※3 受講が決定された方は、必ず受講者1名につき、マニュアル（1冊）と記録用紙（1部）をご用意ください。

# Vineland-II 研修会

## (適応行動尺度)

～スコアリングの演習と解釈から支援計画へ～

**厚** 生労働省において、児童発達支援ガイドライン・放課後等デイサービスガイドラインが策定され、支援機関には子どもの発達過程や特性、適応行動の状況などを把握したうえで、個別支援計画の作成と支援の展開が求められています。

**文** 部科学省では、幼稚園教育要領、小学校・中学校学習指導要領、高等学校学習指導要領において、特別支援学級に在籍する児童生徒や通級による指導を受ける児童生徒については、個別の教育支援計画及び個別の指導計画を作成し、効果的に活用することが明記されています。

**V** ineland-IIは、適応行動をもとに支援の必要な行動を客観的に示すことができ、個別支援計画の立案や作成に有用な情報を提供してくれます。対象は0歳～成人の幅広い年齢帯で、同年齢の一般の人の適応行動をもとに、発達障害や知的障害、あるいは精神障害の人たちの適応行動の水準を客観的に数値化できるのが大きな特徴です。



### 【講師紹介】 萩原 拓 (はぎわら たく) 氏

北海道教育大学旭川校 特別支援教育分野 教授

<プロフィール>

米国カンザス大学教育学部特殊教育学科博士課程修了, Ph.D. (Special Education).  
米国カンザス大学教育学部特殊教育学科自閉症・アスペルガー症候群研究プロジェクトコーディネーターおよび非常勤教員を経て、現職。専門は特別支援教育(発達障害)。臨床発達心理士、ライフステージを通じた、自閉スペクトラム症をはじめとする発達障害に関する研究、アセスメント、包括的支援、支援者養成等に携わる。日本版Vineland-II(適応行動尺度)の作成に従事。

期 日 令和4年6月26日(日) 9:30~15:30 (受付:9:00~)

会 場 オンライン開催(Zoom使用)

対象者 発達障害支援に携わる関係者

定 員 50名程度

受講料  
無料

受講の際は、『Vineland-II適応行動尺度(日本文化科学社)』マニュアル(1冊)と記録用紙(1部)を、受講者それぞれにご用意ください。

お申込みはe-mailにてお願いいたします。  
チラシの無断転用、web等への掲載はご遠慮ください。

《お問合せ・お申込み先》  
宮城県発達障害者支援センター「えくぼ」  
〒981-3213  
仙台市泉区南中山5丁目2-1  
TEL:022-376-5306  
FAX:022-379-5010  
e-mail: [m-ekubo@abelia.ocn.ne.jp](mailto:m-ekubo@abelia.ocn.ne.jp)